２００７年度新勧アンケート中間報告

第2回日本学連幹事会議案「新勧政策について」配布資料　　　　　　　文責：小林知彦

普及部では学連加盟登録者減少に対してどのような支援をしていけばいいかというテーマについて模索をしています。というものの実行にうつせるような決定的な策が学連内ではあがっていません。今回は3連休の初日で時間もある（夜更かしができる）ので議論に時間を割いて形になる成果を上げたいと思います。新勧アンケートの回答を集計したものを別途配布しますので参考にしてください。

アンケートを参考に普及部への要望をまとめると

・オリエンの知名度の向上・普及活動

・HPや冊子など新入生向けの情報の整備

の2点に集約されます。

HPは作成の必要性を感じていて新勧をする側の学生向けのサイト（パスワード付き）と新入生向けのサイトの両方があってもいいと個人的には思ってます。（皆さんはどう思いますか？）

冊子に関しては新入生向けのOL技術講座的なものは大学ごとに存在すると思っていたのですがないのであれば技術委員会に相談もして学連で初心者向けの冊子を作成してもいいと思います。オリエンテーリングABCは新入生に配れる用ではないのでしょうか？もしくは魅力がないか・・・そもそも新勧アンケートでこういう回答をした大学がオリエンテーリングABCの存在を知っているのか激しく謎です。（確認してるが返答なし）我々で作るのは技術的な部分だけでいいと思っていますがどう思いますか？（魅力は新入生の隣にいる自分たちで伝えるべきだしOLの面白さを上級生が感じてないようなら新入生はなじまないでしょう）

オリエンの知名度向上・普及活動

小中高校生といったジュニア世代になんとかできないかという意見がありました。

やった方がいいと多くの大学生が認識しているのにやれてません。なぜなのか？動くだけの行動力がないのでしょう。ただめんどうくさいだけなのかもしれません。もちろん僕はジュニア世代の育成を感じているので愛知県内で去年（2年生）から松澤さんに個人的に紹介してもらった愛知教育大学の先生とともに小学校の親子レクリエーションの手伝いをしています。今年も9月29日（土）にいきます。今年は小学校そばの林を調査した地図を使ってやる予定です。はたしてこういったことをする根性がある人がどれくらいいるか？たぶん自発的にやる人はいないと思うので学連全体で日程を合わせて全国一斉でオリエンテーリング普及イベントを行うべきだと思います。

思えば今までのオリエンテーリングの大会はオリエンテーリングをしている人向けですごい内輪にこもっている（鎖国状態）と思います。Nクラス（初心者向け）といいつつ初心者とよべる人々への広報はほとんどされず、実際に参加者も数えるほどである。本当にオリエンティアを増やしたいのであれば学生が自分たちで面白いイベントを企画する必要があると思います。（JOAがやる気がないのであれば）別にオリエンティア向けである必要はありません。未経験者むけの企画を全国で同時並行で準備し、企画、広報の仕方、宣伝対象もジュニア世代をつかめるような方法を考えないといけません。数多くの中学生高校生の心をつかむことができなければ、参加層は親子連れの小学生以下になりそういった世代が日本学連に加わるには6年～10年かかります。おそらく今の自分たちはもう三十路になってなかにはOLを忘れてしまう人もいるかもしれませんが今動かないとたぶん先はないかもしれませんね？

普及部（長）に普及をしろという人がいたり、存在意義がないという人もいます。僕も普及部の活動方針はよくわかってません（やってみないと誘われたので受けました）が普及をしようとしたら1人か2人で町の小学校にいってイベントをやっても意味ないんです。これは自分が実際にそういった活動をした上で断言できます。大量の人員を投入して日本中で展開するくらいの革命的な動きがあってもいいと思うんですけど・・・

こういった学生OL界（場合によってはOL界全体で）で将来の学連を支えてくれるようなジュニア世代への普及イベントをするのってやっぱ手をだしにくいものなんですかね？？皆さんどう思いますか？